

中山間地は日本の原点。守ります、築きます、中山間地域の暮らしを。

県政をもっと身近に！

県政報告

第13号

令和4年3月



島根県議会議員

高橋まさひこ

高橋まさひこ事務所 〒699-1251 島根県雲南市大東町大東1888 TEL0854-43-8057

桜の花のつぼみが膨らんできました。待ちに待った春到来で農作業も始まったこのごろ、皆様いかがお過ごしでしょうか。
ロシア軍のウクライナ侵攻が世界中に衝撃を与え、燃料の一層の高騰や株安など経済的不安が高まっています。
オミクロン株拡大による第6波、島根県ではまん延防止等重点措置の適用が先月20日に終わったものの、下旬から再び感染が広まって雲南市の小中学校の休校等の措置となり、予断を許さない状況となっております。
一方、昨年来からの大きな課題となつている木次線の将来像では、大きな展開があり、次のステップへ進むこととなりました。
本号は、①木次線問題 ②主要地方道松江木次線の工事進捗状況 ③県の新年度予算内容について報告します。



山陰線を走る観光列車「あめつち」

観光列車 「奥出雲おろち号」から 「あめつち号」へ

JR木次線のトロッコ列車「奥出雲おろち号」の2023年度での運行終了方針を受け、木次線の新たな観光列車や沿線観光の在り方を議論する5回目の検討会が2月9日に開催されました。

JR西日本は山陰線を走る観光列車「あめつち」を宍道～出雲横田駅間に乗り入れ、行楽シーズンを中心に週1回程度運行し、定期列車の内装や外装の装飾を行うといった案を自治体側に提案していたが、島根県と沿線自治体は受け入れることを了承しました。

JR西日本によると「あめつち」は車両の性能上、急勾配区間のある出雲横田～備後落合駅間は運行できないと説明。

石飛厚志雲南市長は「最善とは言えないが地域の観光振興と合わせ効果を生み出せる。」と前向きな発言。また、勝田康則奥出雲町長は「みどころのスイッチバックを走れないのは残念だ」と懸念しつつも、理解を示す苦渋の決断。

国土交通省は各地のローカル鉄道の収支が悪化し、将来の存続が危ぶまれる状況と判断。有識者の検討会を開催し、交通網の再構築について7月～8月ごろにかけてまとめる方針。

JR西日本はコロナ禍による利用客の落ち込みで、昨年度に続き今年度も大幅な赤字が予想される見通しであり、利用者が特に少なくなつている地方路線の一部について、これまで明らかにしていなかった「線区」ごとの収支の状況を初めて示すとのこととしています。

JRはこれまで都市部の在来線や新幹線の収益で地方路線を支えるという収支構造であったが、人口減少とコロナ禍が加わり、不採算路線の見直しを迫られる転換期を迎えようとしていることを強調しています。

主要地方道 松江木次線(東忌部工区)について

令和元年7月発刊の県政報告第4号で当該道路の状況について報告しましたが、最新の情報を松江県土事務所に確認しました。整備状況も見え始め、多くの方々からいつ開通するのか尋ねられる方も増えていきます。東忌部工区の整備区間は1700mで現在は忌部川の付け替えとカルバートによる現行道路との繋ぎを中心に工事が進められています。

前回お知らせした時には、完成が令和5年～6年と聞いていましたが、豪雨による工事の中断や予想以上に土質が悪いことから工事が遅れているようです。一方、豪雨災害の復旧工事、特に千本ダム付近の側面崩壊による復旧工事が急がれており、昨年のような集中豪雨があれば、再び通行止め等が



「雲南市蒸気機関車C56108保存会」の堀江晴俊会長は「鉄道の持つ意義をもう一度考え直す時が来ました。過疎地域の鉄道を守るため、観光列車としての乗客勧誘に加えて地元住民の足としての利便性も必要です。利便性と乗る楽しみ、癒しのある時間を持つ木次線が利用者増加へのキーワード」と申されました。

今後は、沿線の周遊性を高めるための観光振興など木次線の活性化へ向け、次のステップへ進むこととなりました。力をあわせましょう！

発生する恐れもあります。東忌部工区については、私も引き続き早期の完成に向け尽力したいと思っております。

令和4年度(2022)

予算のポイント

- ◎令和4年度当初予算は、新型コロナウイルス感染症対策と島根創生の推進の両立を進めるとともに、健全な財政運営を図る予算として編成
- ◎国の施策や財政支援を踏まえて新型コロナウイルス感染症対策や国土強靱化対策を進め、切れ目ない予算編成
- ◎当初予算と前年度11月補正の国土強靱化対策の公共事業、2月補正予算をあわせた総額ベースでは、5,206億円で、前年度比で5.3%、261億円の増加

新型コロナウイルス対策 333億円 (当初191億円 補正142億円)

- 入院患者を受け入れる病床の確保 89億800万円
- 学校等における感染防止 14億1,100万円
- 中小企業者等の資金繰り支援 1億7,900万円
- 飲食店への営業時間短縮要請協力金 25億円
- 県内消費を喚起する施策(飲食業・観光業等) 82億700万円

活力ある産業をつくる 282億円 (当初273億円 補正9億円)

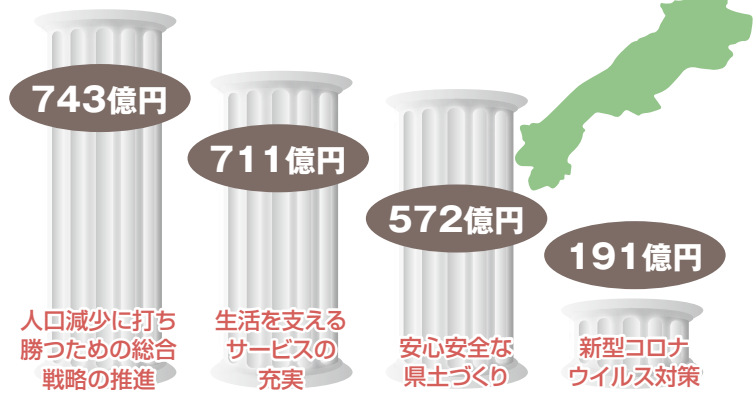
- 新規就農者確保・定着促進 4億1,900万円
- 水田園芸拠点づくり事業 2億7,000万円
- 持続可能な米づくりへの構造転換対策事業 1億4,000万円
- ものづくり産業の脱炭素化に対応する取組支援 1億1,400万円
- しまねIT産業振興 2億8,200万円
- 「美肌県しまね」の観光振興 2億3,000万円
- 循環型林業の収益力向上対策 1億600万円

結婚・出産・子育ての希望をかなえる 104億円 (当初104億円)

- 市町村と連携した総合的な結婚支援 1億3,800万円
- 不妊に悩む夫婦等を支援するための相談体制を強化 8,600万円
- 放課後児童クラブの利用時間延長と待機児童解消 8億3,500万円

予算の4つの柱

当初予算額：4,821億円



当初予算の概要

歳入予算

項目	令和3年度	令和4年度
県税	637	730
地方譲与税等	88	147
地方交付税	2,075	1,908
国庫支出金	859	995

歳出予算

項目	令和3年度	令和4年度
衛生費	264	365
災害復旧費	87	124
民生費	580	607
公債費	687	663
農林水産業費	433	415
教育費	923	909

地域を守り、のばす 385億円 (当初320億円 補正65億円)

- 空き家活用の取組み支援 2,000万円
- 小さな拠点づくりの推進 1億7,400万円
- 産地創生事業 1億6,900万円
- JR木次線利用促進 2,200万円
- デジタル戦略推進 1,200万円
- しまね長寿・子育て安心住宅リフォーム助成 1億7,200万円

島根を創る人を増やす 48億円 (当初46億円 補正2億円)

- 高校生や県内外に進学した学生の県内就職促進 4億6,800万円
- 未来の創り手育成 2億9,000万円
- 県内学生の県内就職に向けた取組支援 2,500万円
- 産業人材確保対策 5,800万円

県議会の動向、詳しい活動状況に興味ある方はアクセスを！



WEBサイト

島根県議会では議員の年間質問時間の上限が定められており、私もその制限に該当したため残念ながら今回の2月定例会は、一般質問をすることができませんでした。さて、新型コロナウイルス感染症が続き、医療関係者のご尽力と飲食店等の経済的厳しさの中で忍耐強く頑張られている状況に、心より敬意を表します。県内では福祉施設や学校でクラスターが発生しており、これ等に対応したコロナ対策が新年度予算でも盛り込まれています。

2月24日、ロシア軍がウクライナを侵攻しました。この暴挙を許すことが出来ません。世界秩序も核を背景に大混乱を起こしています。ジュネーブ協定も無視し、一般市民に対しても無差別に殺戮を繰り返しています。無力を示した国連は、以前から言われた大改革をしなければなりません。

食糧やエネルギー資源を他国に依存している我が国は、その影響がガソリンや食品の価格に始めています。コロナ感染でも国内製造を海外にシフトしたため、生活必需品さえも手に入らない状況が続きました。海に囲まれた日本は海上輸送が止まれば、大変な状況になります。プーチンによる理不尽な戦争を通じて、食糧安保政策を真剣に考えなければならぬと思います。隣国には民主主義の無い国もあり、権力の集中が暴走すれば同様なことが起きる可能性を秘めています。国民を守るためにも、食糧自給率40%の目標を見直す機会ではないでしょうか。ウクライナ国民に平和を取り戻せるよう祈るばかりです。

地域を
安心・保衛し-



高橋まさひこ事務所
発行責任者 高橋雅彦

〒699-1251 島根県雲南市大東町大東1888
TEL.0854-43-8057 FAX.0854-43-6479

https://m-takahashi.jp
info@m-takahashi.jp